

《「こんにちは訪問」を実施しました》



地域の皆さまに安全対策工事の状況などについて説明

7月22日から8月7日にかけて、地域の皆さまへ発電所の状況をご説明しながら、ご意見などをお聴きする対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

1994年の開始から35回目となる今回は、発電所員延べ約200人が、女川町と石巻市牡鹿半島部の約3,900戸を訪問し、女川2号機の再稼働に向け鋭意取り組んでいる安全対策工事の状況や、女川1号機の廃止措置の工程などについて説明しました。

地域の皆さまからは、「安全を最優先に油断のない気持ちを持って工事や作業に取り組んでほしい」「安全対策工事や廃止措置の進捗状況について住民へしっかりと周知してほしい」などのご意見をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営に生かしてまいります。

地域の皆さまからいただいたご質問やご要望を真摯に受け止め、引き続き分かりやすい説明、丁寧な対話に努めてまいります。



地域総合事務所
山本 武志(石巻市出身)

《「収穫祭2019」を開催します》

10月20日、女川原子力PRセンターにおいて「収穫祭2019」を開催します。

スイートガーデンの果樹園で育った「りんご・大根・さつまいも」の収穫体験(小学生以下のお子様対象)のほか、ご家族でお楽しみいただける各種催しを行います。

皆さまお誘いのうえ、ぜひ女川原子力PRセンターへお越しください。

東北電力 女川原子力PRセンター **入場無料**

収穫祭2019

日時 **10/20日**
午前10時～午後3時

イベント詳細のご確認は
こちらのURLまで 
<http://syukaku-onagawa.com>

お問い合わせ 収穫祭事務局
☎0120-554-566
平日 10:00~17:00(土日祝除く)

収穫体験 りんご狩り、大根掘り、さつまいも掘り
(小学生以下のお子様対象) それぞれ午前・午後各1回開催
当日会場にて整理券を配布します。

ステージ エイサー石巻、よさこい舞綺瓔、石巻好文館
高校チアリーディング部「ピーナッツ」、
石巻ジュニアジャズオーケストラほか

ふるまいコーナー

あったか～い芋煮など 午前・午後各1回開催
当日会場にて整理券を配布します。

「体験コーナー」(有料)、「軽食販売コーナー」、「縁日コーナー」(小学生以下のお子様対象)などの催しもご用意しています。

《「第18回東北電力図画コンクール」一般投票を行います》

「第18回東北電力図画コンクール」(募集期間:7月22日～8月31日)に、たくさんの作品をご応募いただきありがとうございました。

10月10日から22日までの期間(10月21日の休館日を除く)、一次審査を通過した200作品を女川原子力PRセンターに展示し、来場者の皆さまによる一般投票を行います。ぜひご来館いただき、お気に入りの作品に投票してください。



昨年の展示の様子

《自治体による立入調査が行われました》

9月2日、「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書」第10条※1に基づき、宮城県および女川町、石巻市による女川原子力発電所の立入調査が実施されました（登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町も同行）。

今回の調査では、8月21日に原子力規制委員会から保安規定違反「監視」※2と判定された「女川3号機における放射線モニタ（放射線を監視するための計測器）の管理」に関する事象を中心に、前回の立入調査（2016年6月）以降に発生した4つの事象について、発生経緯や当社の対応、現場の状況などの確認が行われました。

調査終了後の講評では、宮城県原子力安全対策課の伊藤健治課長から「保安規定違反と判断されたことを重く受け止め、地域住民の信頼確保のためにも安全管理に努めてほしい」などのコメントがありました。

当社は、今回の調査の中でいただいたご意見を真摯に受け止め、引き続き、発電所の安全確保に努めてまいります。

「女川3号機における放射線モニタの管理」に関する事象について

2018年1月、女川原子力発電所に設置している114台の放射線モニタのうち、女川3号機原子炉建屋内（燃料交換エリア）に設置している1台（当該モニタ）について、測定値がわずかにずれていることを確認しました。

当該モニタについては、早期の復旧（修理や代替品の補充）が困難であると判明したことから、別の計測方法で放射線の監視を継続し、発電所の安全性に影響がないことを確認していますが、保安規定で定める放射線モニタの必要数（114台）を長期にわたり満たしていないとして、保安規定違反（監視）に該当すると判定されたものです。

なお、2019年10月末までに当該モニタの復旧を完了し、必要数を確保できる見通しです。

※1 甲は、発電所の周辺環境の安全を確保するため必要と認めるときは、乙に対して発電所の保守運営に関し報告を求め、又は甲の職員に発電所の立入調査をさせることができる。

（甲：宮城県及び女川町、石巻市 乙：東北電力株式会社）

※2 保安規定は、当社が原子力発電所を安全に運転・管理するために遵守すべき事項を規定しているもので、保安規定違反は、原子力安全に及ぼす影響の大きい順に「違反1」「違反2」「違反3」「監視」の4段階に区分されている。



女川3号機原子炉建屋内で放射線モニタに関する説明を受ける自治体関係者



調査を終えて講評を述べる
宮城県原子力安全対策課 伊藤健治課長

《日本製紙石巻工場を視察しました》

8月5日、若手発電所員の人材育成を目的に、日本製紙株式会社石巻工場にご協力をいただき視察研修を実施しました。

当日は、工場内に設置されているボイラー、タービン、発電機などの発電に関する設備を見学するとともに、運転開始時に行われる試験や発電中の設備の維持管理に必要な保守作業について詳しく説明を受けました。

参加した発電所員は、自身の担当業務や発電所運営に参考となる貴重な経験を積むことができました。



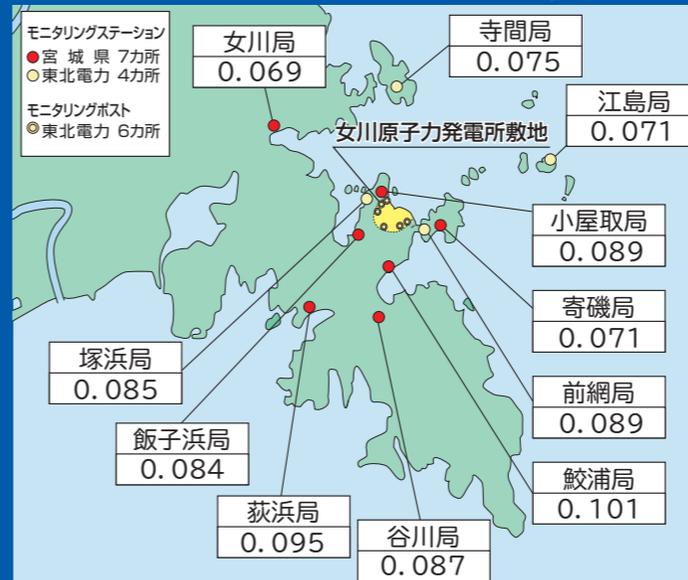
ボイラー設備の説明を受ける発電所員 運転開始時の試験について学ぶ様子

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.052マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

モニタリングステーションの測定状況（8/31現在）



単位：マイクロシーベルト/時

（参考）モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年 3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年 3月13日	1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年 4月 1日	0.063～0.098
2013年 4月 1日	0.055～0.076
2018年 4月 1日	0.037～0.048
2019年 4月 1日	0.036～0.051
2019年 8月 1日	0.036～0.048
2019年 8月31日	0.035～0.052

単位：マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線（宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線）の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。